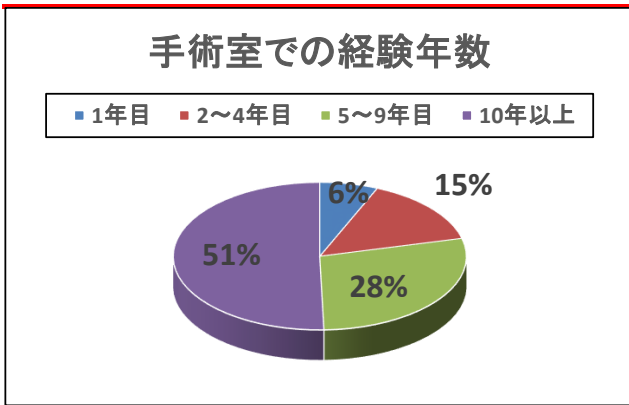


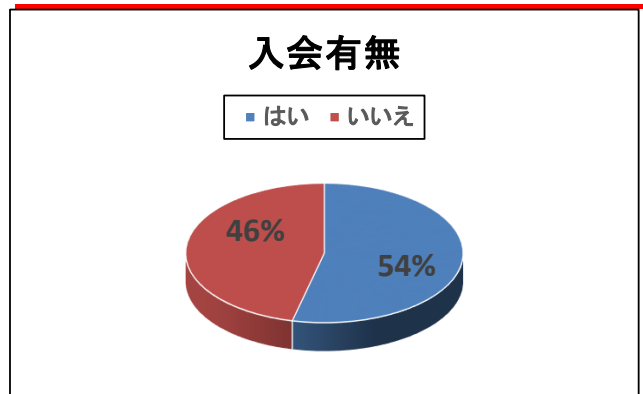
2018年度 第6回関東甲信越地区セミナー 「周術期看護における看護記録」アンケート集計結果

日時:平成31年 2月 16日(土)
 場所:家の光会館 7階コンベンションホール
 参加人数: 122 名(会員 83名、非会員39名)
 アンケート回収数 109 枚 89.3 %

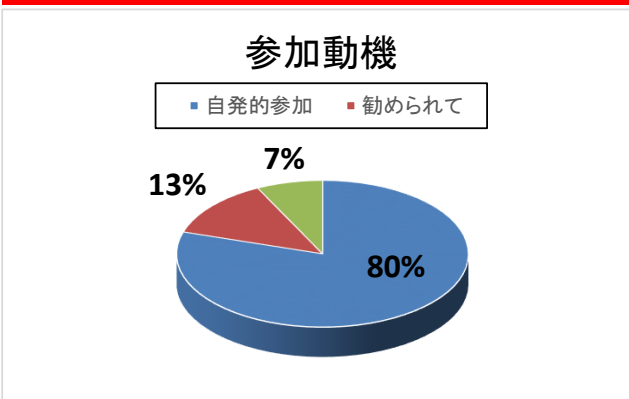
1. 手術室での経験年数



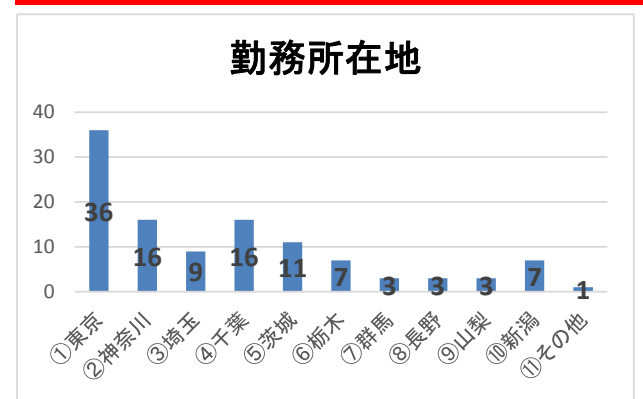
2. 日本手術看護学会に入会されていますか



3. 当セミナーへの参加動機について



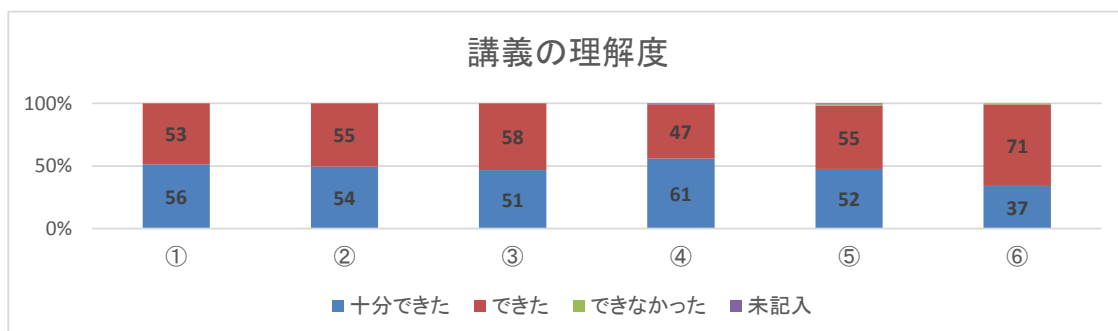
4. 勤務先所在地



5. 講義内容の理解について

理解出来ない～十分理解できたの3段階での回答

- ① 周術期における看護記録の”基本”について理解できましたか
- ② 手術看護記録の実際”術前”について理解できましたか
- ③ 手術看護記録の実際”術中”について理解できましたか
- ④ 手術看護記録の実際”医療事故における看護記録の重要性”について理解できましたか
- ⑤ 手術看護記録の実際”術後”について理解できましたか
- ⑥ 手術看護記録の実際”記録監査”について理解できましたか



6. 今回の研修内容は満足でしたか。

満足: 90人(82.6%)

不満足: 3人(2.8%)

未記入: 17人(14.6%)

満足

- ・記録で困っていたので正確に記載することが必要だと再確認をした。(2)
- ・手術室看護記録に残すべき内容が具体的に理解できた。現在手術室看護記録は紙運用だが、今後電カル内に入れていきたいが、全どのよ
うにするがよい
- ・わからなかったが、具体的にイメージができた。(2)
- ・質問の時間をたくさんとってもらい、具体的に聞けて良かった。資料も大変見やすかった(7)
- ・術中の看護記録についてどこまで記載すればよいかわかりました。また、手術室でも看護展開ができることを知りました。(4)
- ・手術室における看護展開、看護診断等、わからないことが多かったので、非常にわかりやすかったです。
- ・看護計画を難しく考えていた。短い手術時間で看護展開を行うのは本当に難しいと思っていたが、今回の研修で、そうではないこ
とが分かった。
- ・今まで手術室の看護診断のセミナーがなかったので、とても内容も含め充実できました。
- ・テンポがよくわかりやすかった。電カルを導入していますが、手術室は導入されていません。部門システムが入ったら楽だなと思いました。
- ・管理職目線での話を聞けて良かった。自施設と同じ取り組みで安心した。
- ・入室～退室まで経時記録のみを行っていたが、SOPAの書き方や看護問題などの視点や考え方が広がった。
- ・理解が微妙な時は質問の際に回答してもらえてよかった。周囲の方々積極的に質問される方が多く、質問しやすい雰囲気です満足
につながった。
- ・他院の取り組み、記録の悩みが共有でき大変勉強になりました。(3)
- ・資料以外に先生の講義の中で過去の問題も含めて話してもらえたのでわかりやすかった。(2)

不満足

時代の流れで仕方のないことですが、紙記録の当院では少し考えて今回の講義内容を参考にしていかなければならない事だっ
た。当院の記録は整えられていることを改めて知ることができた。

- ・VTEリスクに対しては弾性ストッキングの装着方法をマニュアルに記載してプラン立案なし(P19)にありましたが、装着方
法は「皮膚統合性障害リスク状態ではない」と思いました。

7. 今後のセミナー希望

- ・手術室に必要な他部門との連携の実際。
- ・手術室での新人教育
- ・手術室の倫理、看護研究、リスクマネジメント、医療安全、チームワーク、コミュニケーション
- ・手術室の倫理、看護研究手術室における教育
- ・上級・中級・初級別にセミナーを行ってほしい
- ・今後もこの講義が続くといい
- ・術中外回り、術前診断

8. セミナー企画運営についての意見・感想

- ・会場へのアクセスも良く10時開始も良いです。昼休みの充分で神楽坂にも行け、リフレッシュできました。
- ・スライドが別紙に拡大してあったのはよかった。
- ・毎年セミナーがありますが、昨年との違いが分からない。毎年同じ内容な気がします。新人看護師が入ってきたり、昨年いけな
かった人の為に同じ内容になっていると思いますが、新しい内容のセミナーを開催してほしい。会費が何に使われているのかわか
らない。セミナーも安くないので使い道を知りたい。